

つくば日中協会ニュース

(筑波日中協会会報) 第6号

No. 6 (1999.3)

発行：つくば日中協会

事務局：〒305-0023 茨城県つくば市上ノ室286-3 (戸田方)

TEL&FAX 0298-57-5860

桜の季節を迎え、会員の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

昨年度から取組み始めた「中国語講座」も、つくば市教育委員会のご後援、国際文化課のご協力の下、3月末に2期目を終了することができました。中国語講座の終了のあと、講師の先生や受講生の有志とともに、北京へ中国語体験の旅を楽しみました。この一年間の主な活動内容などをまとめましたので、ご一読下さい。

会長：不破

1. 日中友好の市民交流の発展を願って

つくば市長、つくば日中協会名誉会長 藤沢 順一

つくば日中協会ニュースの発行をお喜びいたします。

中国人と日本人が会員となる、つくば日中協会は、草の根による国際交流実践のお手本であり、お花見会、お月見会などの年中行事を始め、中国語講座の開講、高校生や大学生を含めた訪中団の派遣など、幅広い活動を展開され、両国の親善友好に大きく寄与されているところであります。

現在、つくば市には、5,600人の外国人の方が居住または滞在していますが、その中でも中国の方が1,600人と一番多い人数となっています。この数字は、つくば市民の1パーセントに当たり、仕事に、また、研究や勉強にと、さまざまな分野で活躍されているようでございます。

今年1月には、深圳市囲碁協会とつくば国際囲碁協会との間で友好協定が結ばれたという喜ばしい話もお聞きしています。

また、今年6月には、つくば国際会議場「エポカルつくば」が開場になりますが、当然、中国からお出でになる方々も増えてくることと思います。

行政としては、側面から市民の国際交流活動を支援してまいりたいと考えていますが、また折りに触れて皆様のお知恵を拝借しなければならないことがあると思います。これからも日中友好の架け橋としてご支援・ご協力をお願い申し上げます。

中国は、今年10月1日に、建国50周年を迎えますが、このおめでたい年を記念に、中国と日本の友好関係がさらに深まり、アジアの安定と世界平和に大きく寄与することを願っています。

つくば日中協会の益々のご発展と、皆様のご健康をお祈りして、ごあいさついたします。

2. 99年春中国語講座北京訪問団に参加して

飯田 茂

我々訪中団一行21名は、憧れと不安のなか、3月25日夕闇迫る北京空港に無事降り立った。私自身、初めての海外旅行でした。

1日目の夜、不破会長とともにホテルの餐厅で小吃をとることにした。はからずも中国語がうまく通じなかったが、担担麺と水餃は確かな中国の味だった。

2日目からは強行スケジュールが待っていた。雲一つない澄み切った青空と西からの強い季節風は、飽くことなくまるで我々を歓迎するように続いていた。この日、十三陵～八達嶺、かの有名な万里の長城は風は強いが「景色很美丽」友誼商店で昼食、「中国菜和啤酒很多、很好吃」。

帰りがけ、漢方薬の老舗、同仁堂に寄り道し、診察してもらう。肝臓の中性脂肪が蓄積されている、という診断でとうとう漢方薬を買ってしまった。

午後、天安門広場界限を散策。ただ今工事中であった。が、広場前は黒山の人だかり。ガイドさんによると工事の竣工式だとか。「快要」軍隊が行進してきた。今年は、建国50年にあたり10月1日の「国慶節」に間に合わせるとか。

夜の王府井は、さすがに「很多人」。「但是、太贵了」で何も買わずじまい。

その後、「中国最有名的全聚德」で北京ダックにありついた。北京ダックを食べる前に「已经吃饱了」で充分食べられなかったのは「很遺憾」。

3日目、朝早く発ち、一路、元明代の名寺碧云寺（明代皇帝が眠っている）から「秋天的红叶」が有名な香山へ。郊外に出るとガタピン道路が多い。近くの畑には、りんごか、はたまた、なつめか「不明白了」。ほかは白っぽい土の塊がゴロンゴロン。乾燥気候で雑草さえ生えていない。遠景には冬小麦らしきものが生育中。香山の林には日本でいう檜の類（中国名は柏）が多い。香山奥には辛亥革命の父、白い「孫中山先生」が鎮座ましましていた。



写真1： 万里の長城に登った中国語講座北京訪問団一行

参道の街路樹周辺には、鳥の巣が多いのでガイドさんにきいたところ鵲の巣だという。不思議にカラスは見えない。奥の狭い参道には小さなお店が並び、特産果実のなつめなども売られていた。土ぼこりの中では食品衛生上問題ではないか、とも思ったがとくに気にしている様子がない。

その後、頤和園へ。清朝皇帝の離宮ということからほとんどの門には満州文字が見られた。右手に聳える樓閣は園全体を見渡しているような威厳を持つ。1kmにわたる長い廊下の屋根の鴨居などには4,000枚の絵図が描かれ、なかには西遊記があった。大きいのは合戦の絵図が多い。

午後からは、雍和宮（ラマ教の寺院）～天壇公園である。

とにかく、中国の公園の類は「非常大」で「都走累了」。雍和宮は、華麗さと荘厳さが同居しているところがある。また、五行陰陽説をとり入れた天壇公園は建物類は少ないが、調和のとれた配置は見事というよりない。

夜は、本場ものの京劇観賞であった。両側の電視板には字幕は出たものの、何を話しているか「完全听不懂」。外国人の多い風景は日本の歌舞伎に似たり寄ったりか。京劇の雰囲気だけは体験できた。

4日目の朝を迎えた。朝食はいつも通り、バイキング。この日もチャーハンを主に、サラダ、饅頭などのほか、白粥と初めての黄色いお粥、「这是什么？」唐老师に尋ねたら粟のお粥だそうで、味はなかった。

この日は、朝はまだ「有点儿冷」。まず郊外の盧溝橋へ。1937.7.7日中全面戦争のきっかけになった月がきれいなことで有名なあの卢沟桥である。橋を少しいくと「将来のために一部保存する」というような文言が刻まれている。確かに橋の中央部分だけが大きな石になっている。近くに、中国人民抗日战争纪念馆がある。ここには、1931.9.18の柳条湖事件（日本では満州事変）からの抗日战争の足取りが、写真パネルと当時の遺留品が展示されている。5年前つくば市で行った731部隊関係の物も置いてある。しかし、差し迫った時間の中では、日帝が行った三光作戦など暴虐の数々をいちいち検証できなかったことは残念であった。それでも生きた妊婦の腹を割くとか生体実験の模型など眼をそむけたくなる場所は数多くあった。戦争であったから……ですませられようか。昨今の内外の情勢を見る時、充分懺悔できることができなければまた同じ過ちを必ずくりかえす。今こそ歴史に素直に対峙し懺悔すべき、と感じた。また、それをすることが真の中日の友好に結び付くことだと痛く感じた。

その後、北京原人が発見されたという周口店へ急ぐ。林の中の駐車場へ着いて早速煙草に火をつけた。そういえば、この旅行で最初に口にした言葉が「请问，抽烟可以吗？」。登り口には禁煙の標識があった。次に口にしたのが「厕所在哪儿？」そのどちらもある途中の飛行機の中だった。旅行中、この二つはしゅっちゅう使った。面白半分に。ここのトイレは無料だった。ふつう観光地にあるトイレは3角か5角の有料トイレ。

北京原人が発見された場所はいくつもの地層が重なっていた。発見されたのは上から10層位のところで約50万年前とか。近くの博物館には頭蓋骨やら野生動物の骨格類が展示されていた。

市内に戻り、紫禁城で有名な故宮博物館へ。その前の街頭では自転車床屋があった。自転車一つで椅子に腰掛けさせて開業している。日本の靴磨きみたいなものか。黄先生に聞いたら無許可営業だとか。これこそ自転車操業じゃ。ここでも売り子の姿多く、絵はがきやら観光地図やら手にもって近づいてくる。鈴木先生に聞いたら、中国東北

地方の農民が、農作業のない今の時期に出稼ぎに来ているような。そうはいっても買っている人をみたことがない。どこへ行ってもこの出稼ぎ売り子の姿が多い。どこへでもついて来る。トイレからバスに乗っても。その執拗な商売根性にはあきれかえる。いくら「不要」といって手を振ってもテキはひるまない。

明・清二代の皇宮であった故宮は、ガイドさんの説明によると、誕生日から毎晩違う部屋に寝起きしても28年かかるという。いったい部屋はいくつあるのだろうか。広大な敷地と建物、贅を尽くした珍品の多くを観るには限られた時間では到底無理な話。中和殿周辺は工事中であったが、東側から景山公園を仰ぐ景観はやはり中国。すべて回することは不可能なので、途中右折し、宝物殿へ。ここに入るのは夕方4時まで。すんでのところに入れてもらえた。ここには象牙を繊維状に細く長く削りとって編んだ蓆（ゴザ）は最も贅沢なものの一つだという。

このほか、きらびやかな各種の金銀製の諸道具。さらに、清朝乾隆帝時代、治水に功績のあった「大禹」の玉山や清朝光緒帝時代の妃が扼殺された井戸など見所が多すぎた。このあとの友誼商店までの道はそれほど遠くはなかった。

日曜日ということで北京市内は交通量が多いが、日本よりは少ない。信号は日本の10分の1ぐらい。やはり自転車などの軽車両が多い。車の割り込みはすごく全く日本の比じゃない。これじゃあ私なんぞ運転できやしない。街路樹はまだ芽吹き前で裸んぼう。ずいぶん多いので夏さん（小姐）にきいたら槐樹（えんじゅ）の木だと教えてくれた。夏さんの話す日本語は私の中国語程度（？）なので何度も同じことを聞き返したりした。但し、年齢は聞かなかった。

夕方、友誼商店（2日目に昼食した所と名前は同じだが場所が全然別。チェーン店ではなさそう）で買い物。両替所で中国元に兌換した。10,000円で684.7元（一元＝14.6円）。2日目は685元だったのでほんのわずかに円高になった。ここでも私のつたない中国語は通じたが、簡単な言葉はいいとしても、こみいってくるとややこしくなる。なにせ紙幣の種類が多く少し面倒になる。100圓、50圓、10圓、1圓、そのしたの角等々。近くにいた黄先生、唐老師の妹（唐麗娟）さんにお手伝いしてもらった。

夕闇せまる景山公園は、「刮风、气温下降、所以有点儿冷」。門を入って太極拳をしている人たちを尻目に、暗くなりかけた登り道を急ぐ。丘の上からは故宮が一望できた。灯をともし頃で明かりがあちこちにとりだしていた。

隣の北海公園の湖面は静かで、暗闇に白い塔が浮かんで見えた。当然、下りて見学する余裕はなく、天安門広場近くの餐厅へ。

ここでの宮廷料理も、「很好吃、很好喝」。ただ、「酸辣湯」だけは思ったより辛かった。最後の夜ということで唐老師の母上、妹さんとその子どもさんが「熱烈歓迎」。9歳の「女孩子」（萌萌小姐）は歓迎の自己紹介をしてくれた。宴会は最高に盛り上がってきた。唐老師の妹さんもこんなに日本語が上手だったとは驚きであった。遼寧省からきたそうで、母上は北京で一人暮らしとか。どこの国でも似たような事情はあるもんだ、と感心した。私は連日の名所めぐりで、北京啤酒の酔いもあり「累死了」寸前。ホテルに戻り、母上手作りの十五夜に食べる「汤圆儿」をご馳走になった。あまり甘くなく、とてもおいしかった。

最後の日、早めに起床し、7時前にホテルを出発した。なごり尽きない中国ともこれでお別れ。「很多愉快的回忆、多谢了」。そして「一定再来」。

目に見えない努力と沢山の気配りをしてくれた唐老師、そして黄先生、親族の方々、ほんとうに有り難うございました。「麻烦您了」。

3. 中国語講座に関する感想と宿題発表

中国語講座受講生有志

3.1 中国語と私

町原賀子

今から十年前のこと、初めて、ある目的のため、香港より珠江を一晩かけて船でさかのぼり広州の街を訪れました。港には、人々が大勢集まって興味深くニコニコと迎えてくれた事がとても印象的でした。

その後、広大な中国大陸や、歴史、史跡文化に、だんだん面白みを持ち始め、折にふれ、北京、上海、西安、蘇州、昆明、敦煌などをたずね、又台湾にも何度か旅をしました。

ようやく、中国語を覚えたいと思い、土浦の公民館講座をはじめ、つくば日中協会の講座に参加いたしました。学生ならいずしらず、中高年の私には、仲々難しく、一つ覚えて一つ忘れる、という繰り返しですが勉強する楽しさもあります。

考えてみれば、欧米の主要国は、殆ど同じアルファベットを用いています。これは、発音記号と言っても良いでしょう。ところが、日中2国は似かよった同じ象形文字（漢字）を使ってそれぞれの文化を形成、発展させてきたのです。ここで2国がもっと理解し合うと言う事が今後の発展にプラスになる事は間違いないと思っております。

3.2 受講の感想について

小原惇子

中国語講座入門コース、二期二年、めでたく修了。途中で落伍しなかったと言う事が、今なぜかとても嬉しい。

若い頃、英語教室、講座には何度も挑戦しながら、いつも途中で脱落。殆ど休まず、修了まで続けられたと言う事、実力の程は別にして結構これ快感があるものなのですね。

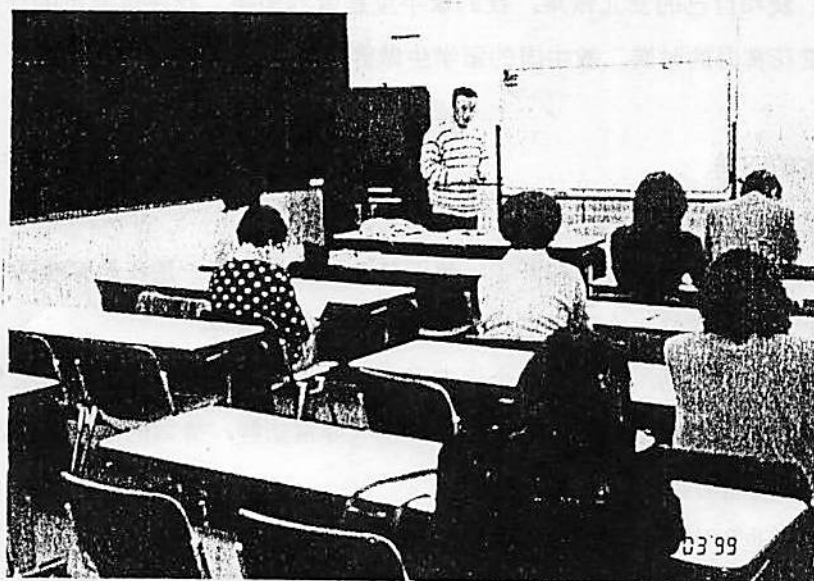


写真2：中国語講座（入門コース、講師は杜国慶先生）

毎週、火曜日（初級コース）と金曜日（入門コース）に開講

昨年（98年）10月、北京へ行きました。日本語の達者なガイドさん付きのパッケージツアーで、私が使った中国語は「多少钱？」と「厕所在哪里？」の二つだけ。

今度はフリープランで行って、あちこち自分で歩いてみたいものと思っています。

それにはもっととどろん会話ができなくてははいけないので、この講座も引き続き開講して下さるようお願いいたします。

3.3 我故乡的风味

渡边武彦

我的故乡在山形县。山形县有许多好吃的各种各样的菜。像用米泽牛做的菜，用芋头和牛肉做的菜，荞麦面条什么的。

用米泽牛做的菜好吃是好吃，就是价格比较贵。所以，我吃米泽牛的机会从来就不太多。

用芋头和牛肉做的菜用日语说是“芋煮（いもに）”。我小的时候，到秋天我和朋友们带着锅和菜的材料一起去河滩，边做菜边吃边玩儿。愉快地玩儿了一天。近年在山形市到了秋天要举行盛大的“芋煮会”。

请大家们有机会的话，尝一次吧。

3.4 日本和中国的菜

铃木贞男

日本的菜和中国的菜不一样。在日本，味道很清淡，但是在中国，菜好吃是好吃，可是菜很油腻。尤其是我很喜欢清淡的菜。平成元年，我的爱人作手术以后，她什么菜也没做过。所以，我和我的女儿做菜。我的拿手菜是做荞面条，我在筑波市的许多公民馆以及留学生赏花赏月的时候，教中国的留学生做荞面条。受到很多人的欢迎。

3.5 我看日本的四季

渡边嘉子

日本的四季是清清楚楚。

春天的天气很暖和。各种各样的花开了。每天梦竟地度过时间，是我最喜欢的季节。

夏天到了晚上，开始青蛙大合唱。这样的声音，让我安定精神。

秋天，到了这个季节的话，我要去找个地方观赏红叶。那不用说是最奢侈的玩儿了。

冬天有很多兴趣。一提起雪的山，银色世界。空气非常新鲜。滑雪的季节到来。

滑雪的时候，我什么都忘了。

我看日本的四季也象中国的四季那么愉快的。

3.6 関東地方の四季

町原賀子

春天

日本の春天开始，听得见小鸟的歌唱声。桃花，樱花，梨花接着开了。在日本，这正好是进公司和入学的时期。人们成了新鲜的气分，心里高兴。

夏天

树叶变成了深绿色，快要梅雨季节了，连绵到七月下旬。出梅的时候出太阳晃眼。听到蝉声，闷热的夏天到来了。

秋天

九月上旬一个接一个来台风。台风过去的时候，空气比较干燥，清爽的季节来了。许多人为求自然外出，走草原，赏红叶。去旅行，晚上赏月，听见虫鸣。

冬天

露天的地面下霜。刮北风，树叶被风刮掉了。我感到冬天来了。不久，平原也下大雪。那时候会发生路面结冻。高速公路封闭了，城市里的交通全停了。

4. つくば市・深圳市囲碁友好都市調印式に参加して

つくば日中協会会長
日本棋院つくば支部幹事長 不破正宏

つくば市と深圳市との間では、これまでも、両市の市長さんや市議会議員訪問団などの相互訪問や小学校間の教育交流などにより、友好関係が深められて来ていましたが、このたび、両市の囲碁愛好者間で、囲碁を通して、市民交流を深め合うことを目的にして、1月下旬に、深圳市の深圳棋院において、両市の囲碁愛好家の団体の間で囲碁友好都市提携協議書への調印式が行われました。囲碁の普及と囲碁を通しての国際交流の発展に情熱を傾けておられる神林章夫氏（カスミ会長）が団長として、訪問団が結成され、私もその一員として参加させていただきました。

2泊3日の短い旅行でしたが、夕方、深圳に着くと、歓迎会の後、早速、調印式が行われ、多くの深圳市内の囲碁愛好者たちが見守る中で、呉付久深圳棋院院長と神林章夫団長の間で囲碁友好都市提携協議書に署名が交わされました。調印式に引き続き、中日囲碁友好会が開かれ、言葉の壁を越えた手談交流の場となりました。中国側の皆さんは、友好囲碁会といえども、勝負には真剣に取り組む姿勢が印象的でした。

翌日は、午前中に、民族村を見学しましたが、その途中、市内の百貨店で子供囲碁大会が開催されている所も案内頂きました。中国では、子供が囲碁を学ぶことを親たちも熱心に奨励しているようで、日本にける若者たちの囲碁への関心の低さは、教育環境の違いなのかと、考えさせられました。午後には、市内の別の碁会所で、深圳・つくば友好囲碁会が開かれ、新たな碁友の輪を広げることが出来ました。

忙しい日程の中、老朋友たちとも再会でき、短い滞在でしたが、日に日に発展を続ける深圳と香港の様子を数年ぶりに肌で感じ取ることができました。

今回の訪中に際して、中国の碁友に直接、中国語で挨拶が出来ればと思い、中国人

の友人に助けてもらって挨拶文を用意しました。大きな声でゆっくりと発音すればというアドバイスにも関わらず、十分に伝わったかどうか自信がありません。

以下に、中国語の学習を兼ねて挨拶文を再掲します。

我叫不破正宏。

做为筑波市的一名围棋爱好者，能够参加这次深圳-筑波围棋友好城市签字仪式，我感到非常地荣幸。

我是一名日本国立研究所的研究员，主要从事光学及视觉方面的研究。进入研究所不久，经同事介绍，我结识了围棋。从那以来，这种用黑白棋子创作出千变万化的图形的活动，就一直深深地吸引着我，使我与围棋结下了不解之缘。

在中国，围棋被视为一项体育比赛，而在日本，人们自古以来就把围棋当作一种文化和艺术，成为文人们的一大爱好。最近，围棋做为一种智能游戏，在科学技术领域里也开始占有一席之地了。

由此，我相信围棋将成为全世界人民友好交流的一种共通语言，受到世界上越来越多的人们的热爱。

我们日本人民，从古代起就通过汉字吸收了包括围棋在内的许许多多优秀的中国文化。对我们来讲，中国就是我们精神和思想的故乡。虽然如此，在我们的父亲，祖父的那个年代，曾给各位的兄弟姐妹，父母和爷爷，奶奶们带来了难以言表的苦难。每当我想起这段不幸的历史，总是懊悔得心酸落泪。我衷心期望各位朋友能够给予原谅。

今年正值中国建国50周年，我们筑波围棋爱好者能够和深圳市的围棋爱好者朋友们，通过围棋来加深两国人民之间的友谊。我为此感到欣喜万分。

今后，我希望能和大家一起，进一步发展深圳市和筑波市的民间交流，为建立两国人民子孙万代的长久友好关系而努力。

最后，我衷心希望各位深圳市的朋友们能够早日访问筑波，通过围棋这种不需要语言的交流方式，不断加深我们的友好交流。谢谢大家。



写真3：中日囲碁友好会（中日围棋友谊会）

1999年1月22日、中国深圳市深圳棋院にて、調印式の後

＜前ページの中国語の挨拶の原本＞

ただ今、ご紹介頂きました不破正宏でございます。

このたびは、つくば市の一囲碁愛好家として、本日の深圳-つくば囲碁友好都市提携調印式に参列できたことを大変光栄に思っています。

私は国の研究機関に所属して、光と視覚に関する研究に従事する一研究者ですが、研究所に入所すると直ぐに、職場の先輩から囲碁を紹介され、それ以来、白石と黒石で作り上げる変化無限のパターンの創造に心を囚われることになってしまいました。

お国の中国では、囲碁はスポーツの一種として扱われていますし、我が国では、古来、文化・芸事（文化人のたしなみ）の一つとして扱われています。しかし、最近では、囲碁は一種の知能ゲームとして、科学技術の一領域としても取組まれはじめており、今後は、全人類の心をつなぐ天から与えられた国際共通語として、多くの人に愛されるようになることと信じています。

思えば、私たち日本人は、古くより、囲碁は勿論、漢字を通して多くの中国文化を学び吸収して参りました。我々にとって、中国は心の古里であり、中国の皆さん方は私たちの大恩ある先輩です。それにもかかわらず、私たちの父や祖父の時代において、皆さん方の親・兄弟や御祖父さん・御祖母さんたちに言葉では表せない苦しみを与えてしまいました。思い返すたびに無念の涙をこらえることが出来ません。どうかお許しをお願いいたします。

本年は、貴国中国の建国50周年の記念の年に当たりますが、私たちつくばの囲碁愛好者と深圳の囲碁愛好者の皆さんとの間に囲碁を通して友好を深め合えることになったことは本当に喜びに耐えません。

今後は、皆さんと共に、深圳市とつくば市の市民間交流を発展させて、子々孫々にわたる友情関係を確立するように努めたいと思います。

最後に、今度は深圳の皆さん方が出来るだけ早くつくば市を訪問され、私たちの仲間たちと親しく手談交流を深めてくださるよう、皆さんのつくば訪問を心よりお待ちしております。有り難う御座いました。

（深圳-つくば囲碁友好都市提携調印式における挨拶、於深圳市、1999年1月22日）



写真4：深圳への囲碁訪中団の一行と香港にて
中央、神林章夫団長、その右、筆者

5. つくば日中協会のお月見会／年忘れ交歓会の報告

つくば日中協会幹事 川鍋 芳郎

5.1 お月見会兼日中交歓会報告

つくば日中協会のお月見会兼日中交歓会が平成10年10月2日つくば市二の宮公民館の調理室で午後6時から8時まで盛大に開催されました。

当日は準備を兼ね調理室で午後1時30分から6時まで日中の仲間が協力してそば打ち、餃子作りをしました。

お月見会には中国語講座の受講生20名、留学生10名、日中協会の会員10名、合計40名が参加されました。

お月見会兼日中交歓会は川鍋幹事の司会のもと不破会長、筑波大学中国人留学生会副会長段麗君様のご挨拶を頂戴しました。そして戸田事務局長の音頭で乾杯した後は、しばらく歓談しました。

そして、自然発生的に余興コーナーが始まりました。

余興コーナーは、ほとんど全員が参加して時間を忘れるほど盛り上がりました。

大変充実したお月見会兼日中交歓会でした。

参加していただいた皆様ありがとうございました。

5.2 つくば日中協会年忘れ交歓会報告

つくば日中協会平成10年度の活動計画に基づいた年忘れ日中交歓会が、平成10年12月26日つくば市ゆかりの森・老人福祉センターホールで午後4時30分から7時まで盛大に開催されました。

当日は、日中協会の会員の他、つくば市国際文化課との共催により開講した中国語講座の受講生の皆様及び中国人留学生の皆様など、当交歓会に関心のある多数の方々が参加されました。

なお、当日は交歓会に先立ち、老人福祉センターの調理室で（午後1時30分から4時30分）交歓会の準備を兼ねて日中の仲間が協力して、そば打ち、餃子作りなどをしました。ご協力ありがとうございました。

年忘れ日中交歓会は、川鍋幹事の司会のもと不破会長の挨拶の後、来賓として筑波大学中国人留学生会会長の左士瑛様のご挨拶を頂戴しました。

その後戸田事務局長の音頭で乾杯した後は日中の料理を味わいながら、しばらく歓談しました。

そのご紹介コーナーとして中国語入門コースを中山氏、初級コースを鈴木幹事、中国人留学生会の孫震強副会長、日中協会を王幹事長がそれぞれの説明と出席者を紹介しました。

最後の余興コーナーはゲームあり歌ありで大変盛り上がりました。特に中国語講師の杜国慶先生、唐莉莉先生の中国の歌には全員が感動し終了後も拍手が鳴り止まらずアンコールに答えていただきました。

ところで中国の諺に「有縁千里能相会、無縁対面不相逢」（縁があれば千里離れていてもお会いできますが、縁がなければお向かいの方でもお会いすることはできません）という言葉があります。年忘れ交歓会を通じて多くの人と不思議な縁で知り合い、理解しあい、そしてお互いに学びあうことができ、大変充実した楽しい交歓会でした。参加していただいた皆様ありがとうございました。

付録A 平成10年度つくば日中協会役員名簿 (五十音順)

役職名	氏名	勤務先 自宅住所	勤務先電話 自宅電話
名誉会長	藤沢 順一	つくば市長 つくば市古来 458	0298-36-1111 0298-57-2014
顧問	兼平 英雄	つくば市議会議員 つくば市谷田部 3250-3	0298-36-1111 0298-36-0316
会長	不破 正宏	電子技術総合研究所 つくば市梅園 2-3-29	0298-54-5648 0298-51-7614
幹事長	王 学論	電子技術総合研究所 つくば市竹園 2-808-102	0298-54-5299 0298-55-5655
幹事	石 敏俊	筑波大学農林学系 つくば市並木 2-121-404	0298-53-4611 0298-52-8537
"	遠藤 誉	筑波大学留学生センター 国立市東 4-21-23	0298-53-2776 0425-76-7774
"	荻谷由紀子	つくば市社会福祉協議会 つくば市百家 713	0298-67-5753 0298-47-4770
"	川鍋 芳郎	つくば市金田 22-12	0298-57-5563
"	鈴木 貞男	鈴木理美容所 つくば市上郷 1713-2	0298-47-2765 0298-47-2765
"	杜 国慶	筑波大学大学院生 つくば市天久保 2-1-1 筑波大学平砂宿舎 3-116	0298-53-4451 0298-58-8081
"	杜 明遠	農業環境技術研究所 つくば市松代 5-502-303	0298-38-8205 0298-53-1426
"	戸田 雄三	つくば日中協会事務局 つくば市上ノ室 286-3	0298-57-5860 0298-57-5860
"	中嶋 利雄	つくば市教育相談センター つくば市手代木 590-3	0298-66-2211 0298-36-1199
"	冷岡 倍華	つくば市役所国際文化課 つくば市島名 1234-1	0298-36-1111 0298-47-1953
"	李 建華	建設省土木研究所 つくば市竹園 3-512-502	0298-64-2269 0298-51-7762
監事	早川 吉則	筑波大学基礎医学系 つくば市赤塚 602-77	0298-64-2571 0298-36-6535
"	楊 峥嵘	日本自動車研究所 つくば市春日 1-6-2-205	0298-56-1111 0298-56-6988

事務局：〒305-0023 茨城県つくば市上ノ室 286-3 戸田雄三気付
つくば日中協会事務局
電話・FAX：0298-57-5860

6. つくば日中協会平成10年度活動経過および今後の活動予定など

つくば日中協会事務局

1. 平成10年度の総会が4月11日（土）午前10時から筑波大学のクラブハウスで開催された。不破会長の挨拶の後、中国語講座、忘年会等の活動結果が報告された。荻谷会計担当より平成10年度の会計報告がなされ、唐会計監査より会計監査の結果、会計処理上に問題がないことが確認された。次いで、王幹事長による平成10年度の活動計画（案）および年間活動スケジュール（案）の説明がなされ、また荻谷会計による平成10年度予算（案）の提出があり、すべて了承された。総会終了後、筑波大学・桜の広場でお花見会が催された。天候にも恵まれ、また筑波大学中国人留学生も参加して和やかなうちに歓談を楽しんだ。

平成9年度に始めた当協会とつくば市国際文化課との共催による中国語講座を継続した。講師は昨年と同様筑波大学大学院生の唐莉莉氏と杜国慶氏に御願いした。入門コース、初級コースとも好評で、また受講生もよく頑張る人が多かった。

昨年の夏、中国大陸、長江及び松花江流域における大洪水の被災者への義援金を募って、中国語講座の受講生や有志のご協力を得て、私たちの気持ちを中国大使館に託した。

恒例の忘年会が「ゆかりの森」で行われ、多数の参加者を集め夜遅くまで歓談が続いた。

つくば市と深圳市との間では姉妹都市提携の気運があるが、その促進のため、つくば市の囲碁愛好家の代表が深圳市を訪れ親善囲碁大会が行われた。当協会の不破会長も団員として参加したが、中国のアマチュアの囲碁レベルは大変高いとのことであった。

中国語講座の講師・唐莉莉氏は東洋大学牛久高校の中国語の講師も担当しておられる。東洋大学牛久高校の生徒を引率して北京を訪れるのを機に当協会の中国語受講生の有志も同行し、北京観光を楽しんだ。

2. 別紙にご案内の通り、つくば日中協会の平成11年度総会と懇親会を4月18日（日）の午前11時～午後2時に二の宮公民館と洞峰公園で開催します。

3. 平成10年度の会費を未納の方は、会費の納入をお願いいたします。年会費は3,000円（一般会員）、または1,500円（学生会員：研修生、留学生など）です。納入方法は下記の入会案内をご参照ください。

4. 本年度も、つくば市より補助金の交付を頂き、また、株式会社カスミより、団体会員費として、高額の支援金を頂戴した。記して感謝申し上げます。

<<入会案内>>

つくば日中協会に入会ご希望の方は、事務局に会員登録票を請求し、会員登録票に記入の上、年会費と共にご提出下さい。

年会費納入方法は、直接、役員に届けるか、下記の振込口座をご利用下さい。口座名義は、「つくば日中協会」です。

郵便振込口座番号：00320-9-37492

常陽銀行口座番号：104-1202770（研究学園都市支店）

関東銀行口座番号：035-014793（研究学園都市支店）

<<問い合わせ>>

本会についてのお問い合わせは、事務局・戸田〔電話：0298-57-5860（自宅）〕、または、不破会長〔電話：0298-51-7614（自宅）、0298-54-5648（勤務先）〕か王幹事長〔電話：0298-55-5655（自宅）、0298-54-5299（勤務先）〕までご連絡下さい。

E-mail：fuwa@mua.biglobe.ne.jp（不破会長）、wang@etl.go.jp（王幹事長）

つくば日中協会ホームページ <http://www.geocities.co.jp/WallStreet/1702/>